

第 41 回ダム現地見学会 開催報告

現地見学小委員会 事務局

第 41 回ダム現地見学会は、一般社団法人日本大ダム会議とダム工学会との共催で、平成 27 年 10 月 1 日（木）～2 日（金）に開催しましたので報告いたします。

1. 概 要

今回の見学会では、現場従事者の声を直接聞くことで施工・ダム管理の両面から学習することを目的とし、現在建設中の厚幌ダム（北海道）と昨年完成した夕張シューパロダム（北海道開発局）の 2 ダムを見学しました。

厚幌ダムでは全国 3 例目となる台形 CSG ダムの現場最盛期の状況を、夕張シューパロダムでは堤体観測設備などを見学させていただきました。

さらに質疑応答では、合理化施工における留意点や苦勞されている点など、実際に従事されている方々の生の声を聞くことができ、参加者とともに活発な議論を行うことができました。

また、今回の見学会団長は、阪田憲次元土木学会会長にお引き受けいただき、「ダムを取り巻く諸課題と展望」と題して、ご講演いただきました。

本見学会では、ダムの設計や施工を専門とする若手からベテランまで幅広い層の方々にご参加いただき、参加者から現在建設中のダム現場で推進される合理化施工およびダム管理の両面から知識を深める意味でも有意義な見学会だったという声もいただきました。

見学会当日は、急速に発達する低気圧の影響で大荒れの天気が予想されていましたが、なんとか持ちこたえることができ、予定どおり全行程をこなすことができました。名湯登別温泉での宿泊は、見学会のオプションではありましたが、参加者からは非常に好評でした。



施工中の厚幌ダム上での集合写真

2. 参加者

阪田憲次団長以下、44名の参加を頂きました（小委員会事務局幹事を含む）。参加者の内訳は、財団2名、電力会社4名、ゼネコン・メーカ26名、コンサルタント7名、学生5名となっています。



夕張シューパーダムをバックに集合写真

3. 見学場所

厚幌ダム

所在地 北海道勇払郡厚真町幌内

目的 FNAW、集水面積 105.3 km²、有効貯水容量 43,100 千 m³

型式 台形 CSG、H=47.2m、L=516m、V=480,000 m³

事業者 北海道

施工者 安藤ハザマ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体

夕張シューパーダム

所在地 北海道夕張市南部青葉町

目的 FNAWP、集水面積 433 km²、有効貯水容量 367,000 千 m³

型式 G、H=110.6m、L=390m、V=940,000 m³

事業者 北海道開発局、石狩東部広域水道企業団、北海道

施工者 大成建設・岩田地崎建設・中山建設特定建設工事共同企業体

4. 行程：

《11月1日》 11:00 新千歳空港 集合

昼食（バス車中）

13:00~16:00 厚幌ダム 工事概要説明、現場見学、質疑

宿泊（登別温泉 登別プリンスホテル「石水亭」）、懇親会

《10月2日》 8:30～9:30 講演 「ダムを取り巻く諸課題と展望」
元土木学会会長 阪田憲次氏

10:00 宿舎出発

12:00 昼食

13:00～15:30 夕張シューパロダム 工事概要説明、見学、質疑

16:30 新千歳空港 解散

5. 謝辞

今回の見学会を通じて、北海道開発局 札幌開発建設部 夕張川ダム統合管理事務所、安藤ハザマ・岩田地崎建設・田中組特定建設工事共同企業体の関係者の皆様には、ご多忙の中、多大なご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。